

Weekly コラム

令和 3 年 4 月 13 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

デジタル薬局

米アマゾンにとって、医薬品事業は“目の前にある宝の山”であり、あとはいつ本格的に進出するかが注目されていました。2020 年 11 月 17 日、ついに米国で処方薬をネット販売する「アマゾン・ファーマシー」のサービスが開始され、医薬品業界にも巨象アマゾンが乗り込んできました。当然市場へのインパクトも大きく、17 日の米株式市場は大手ドラッグストアチェーン、医薬品物流会社、医療保険会社の株価が急落し、時価総額で合計約 220 億ドル（約 2 兆 2900 億円）が吹き飛んだといえます。

アマゾンはどんなサービスを展開していくのか？簡単にいうと、薬局に行かなくても薬が届きます。ジェネリック医薬品は最大で 8 割引、先発薬で最大 4 割引。処方薬を一包化（1 回の服用に必要な複数の薬を 1 袋にまとめる）、曜日や服用時間ごとに分けてくれます。アマゾンの薬剤師が、ネットや電話で相談に応じてくれます。さらにプライム会員であれば、送料無料ですぐ配達してくれます。つまりコロナ禍において、これ以上ないサービスを受けることができます。

医療事業へのアマゾンの参入は、2018 年にオンライン薬局企業であるピルパックを約 8 億ドル（約 830 億円）で買収してからです。ピルパックは処方薬を小分けにして届けてくれる薬局を手掛ける新興企業で、今回のアマゾン・ファーマシーの中核になる企業です。ピルパックのオンライン薬局事業の成功には、「プラクティス・フュージョン」社が提供する総合医療の巨大なプラットフォームが大きく関係しています。「プラクティス・フュージョン」社は

全米の約 15 万人の開業医に声をかけ、電子カルテの管理システムを無料で提供するサービスを始めました。高額な電子カルテの導入を無料で受けられることで、開業医などの登録が爆発的に増え、今では米国の医療システムを激変させるプラットフォームに成長しています。このプラットフォームを経由して、患者に診療データや処方せんが送られ、患者はこの処方せんをオンライン薬局に転送するだけで薬が届くシステムです。このプラットフォームを押さえることで、処方薬はアマゾン・ファーマシーから患者に送られることになります。

ウォール・ストリート・ジャーナルによりますと、米国での処方薬のオンライン購入は、処方薬の年間売上高約 3360 億ドル（約 35 兆円）の 5%程にとどまり、まだ多くの人が実店舗で処方薬を購入しています。このように、アマゾン・ファーマシーの前にはほとんど手つかずの巨大市場が眠っており、今回満を持して医薬品事業に進出してきたようです。

米アマゾンのように時価総額が 1.5 兆ドルを超え、株価収益率が高く、株価が年初来で 70%以上も上昇している企業は、その成長を維持するために 1 兆ドル規模の事業を必要としているといえます。医薬品事業においても、アマゾンはまた一人勝ちとなるのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。